

2011年度版

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 旭区支部 非常通信訓練要領

総則

- 1、本要領は地域防災拠点と区役所間の非常通信訓練要領とする。

実施要項

- 2、この要領は、防災訓練の状況に合わせて変更し、使用する。
- 3、通信周波数は**原則**として指定周波数（438.08MHz 145.08MHz）を使う。
- 4、通信時には自局コールサインの後にOP(オペレーター)名を入れる。
- 5、通信訓練は全て統制局の統制の下で行う。
- 6、訓練電文の始めに「訓練 訓練 訓練」を、終わりに「以上 訓練」を必ず付加する。
又送信開始直後にブレイクインタイム(以下”**BK**”と略す)を、**混信防止・緊急通信に対応する為に** 設ける。
尚通信文に関しては訓練例文を参考にし、状況に合わせて**一分程度にまとめ**作成する。
- 7、区制定の様式で伝達依頼があった場合はその用紙を使用する。
尚、長文になる場合は分割し1回の送信を一分程度にとどめる。
- 8、通信電文については原則として復唱確認を行う。
但し 正確な情報伝達が確保されていると判断できる場合は、復唱確認を省略出来る。
- 9、重要度の高い固有名詞・数字等は、欧文・和文通話表等を併用して電文を送信する。
但し、双方で確認が出来ている場合はこの限りではない。(通話表は、添付資料に依る)
⑨ 特に医薬品については似た名前があるため通話表に基づき送受信する。

報告

- 10、非常通信訓練を行った後は、交信記録表に記載し、規定の訓練報告書を作成し、所定の方法で拠点担当者又はその代理人が、正をブロック長に、写しを非常通信協力会旭区支部事務局(以下事務局と称する)に提出する。
尚ブロック長は提出された正の報告書を確認し承認欄に記入後事務局に提出する。
- 11、事務局は提出された報告書を基に稼働人員等を集計し適時会員及び関係先に報告する。

改訂

- 12、本要領は、原則年1回、内容の見直し改定を行う。
尚、改訂する場合は、防災拠点、旭区支部会員その他関連団体の意向を反映する。

通信訓練開始手順

1 地域防災拠点 → YWK

J R 1 YWK 旭区役所 こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____

BK

ただいまから訓練電文による通信訓練を開始したいので、指示願います。

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____ どうぞ

2 YWK → 地域防災拠点名

了解 **BK**

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK 旭区役所 OP _____

訓練電文による訓練の開始を願います

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____ どうぞ

通信訓練要領

3 地域防災拠点 → YWK

了解 **BK**

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____

訓練電文を送ります

「訓練、訓練、訓練 (訓練例文第1報) 以上訓練」

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____ どうぞ

訓練例文第1報

_____時_____分 (24H表示) 防災拠点は、_____時_____分 (24H表示) に開設した。

校舎は避難場所として使用可能ですが 停電、断水しガスも使用不可

④ 区制定の様式で伝達依頼があった場合は、その内容に変更する。

4 YWK → 地域防災拠点

了解 **BK**

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____

電文を復唱します

「訓練、訓練、訓練 (訓練例文第1報 の復唱) 了解

報告内容を 旭区災害対策本部へ伝達します 以上訓練」

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____ どうぞ

④ 第2報がない場合は、「5 地域防災拠点 → YWK」「6 YWK → 地域防災拠点」を省略し「7 地域防災拠点 → YWK」の項目に移る。

5 地域防災拠点 → YWK

了解 **BK**

J R 1 YWK こちらは Call (地域防災拠点局名) OP _____

復唱内容は間違いありません

訓練電文を送ります

「訓練、訓練、訓練 (訓練例文第2報) 以上訓練」

J R 1 YWK こちらは Call (地域防災拠点局名) OP _____ どうぞ

訓練例文第2報

_____時_____分(24H表示)現在の避難者数は、運営委員も含めて合計_____名
無線機の電源は、発電機を使用。

④ 区制定の様式で伝達依頼があった場合は、その内容に変更する。

6 YWK → 地域防災拠点

了解 **BK**

Call (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____

電文を復唱します

「訓練、訓練、訓練 (第2報 の復唱) 了解

報告内容を 旭区災害対策本部へ伝達します 以上訓練」

Call (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____ どうぞ

7 地域防災拠点 → YWK

了解 **BK**

J R 1 YWK こちらは Call (地域防災拠点局名) OP _____

復唱内容は間違いありません 指定周波数の受信を続けます

J R 1 YWK こちらは Call (地域防災拠点局名) OP _____

通信訓練終了手順

1 地域防災拠点 → YWK

J R 1 YWK 旭区役所 こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____

BK

これにて、通信訓練を終了しますが、如何ですか

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____ どうぞ

2 YWK → 地域防災拠点

了解

BK

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____

通信訓練の終了、了解しました 閉局しますか

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____ どうぞ

3 地域防災拠点 → YWK

了解

BK

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____

_____時_____分 (24H表示) をもって、全ての通信訓練を終了します

尚、_____地域防災拠点では住民による防災訓練が継続しています 適宜、状況を報告しますので交信の継続を願います

J R 1 YWK こちらは Call _____ (地域防災拠点局名) OP _____ どうぞ

4 YWK → 地域防災拠点

了解

BK

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____

交信の継続 了解しました 適時 連絡願います

Call _____ (地域防災拠点局名) こちらは J R 1 YWK OP _____

例文終了

添付資料

欧文通話表

| 文 字 | | | |
|-----|-----------------------|---|----------------------|
| A | ALFA (アルファ) | N | NOVEMBER (ノウベンバー) |
| B | BRAVO (ブラボー) | O | OSCAR (オスカー) |
| C | CHARLIE (チャーリー) | P | PAPA (パッパ) |
| D | DELTA (デルタ) | Q | QUEBEC (ケベック) |
| E | ECHO (エコー) | R | ROMEO (ロミオ) |
| F | FOXTROT (フォックスロット) | S | SIERRA (シエラー) |
| G | GOLF (ゴルフ) | T | TANGO (タンゴ) |
| H | HOTEL (ホッテール) | U | UNIFORM (ユニフォーム) |
| I | INDIA (インディア) | V | VICTOR (ビクター) |
| J | JULIETT (ジュリエット) | W | WHISKEY (ウイスキー) |
| K | KILO (キロ) | X | X-RAY (엑스레이) |
| L | LIMA (リマ) | Y | YANKEE (ヤンキー) |
| M | MIKE (マイク) | Z | ZULU (ズール) |

和文通話表

| 文 字 | | | | | |
|-----|---------|---|---------|---|---------|
| ア | 朝日の ア | ツ | つるかめの ツ | モ | もみじの モ |
| イ | いろはの イ | テ | 手紙の テ | ヤ | 大和の ヤ |
| ウ | 上野の ウ | ト | 東京の ト | ユ | 弓矢の ユ |
| エ | 英語の エ | ナ | 名古屋の ナ | ヨ | 吉野の ヨ |
| オ | 大阪の オ | ニ | 日本の ニ | ラ | ラジオの ラ |
| カ | 為替の カ | ヌ | 沼津の ヌ | リ | リンゴの リ |
| キ | 切手の キ | ネ | ねずみの ネ | ル | るすいの ル |
| ク | クラブの ク | ノ | 野原の ノ | レ | れんげの レ |
| ケ | 景色の ケ | ハ | はがきの ハ | ロ | ローマの ロ |
| コ | 子供の コ | ヒ | 飛行機の ヒ | ワ | わらびの ワ |
| サ | 桜の サ | フ | 富士山の フ | キ | みどの キ |
| シ | 新聞の シ | ヘ | 平和の ヘ | エ | かぎのある エ |
| ス | すずめの ス | ホ | 保険の ホ | ヲ | 尾張の ヲ |
| セ | 世界の セ | マ | マッチの マ | ン | おしまいの ン |
| ソ | そろばんの ソ | ミ | 三笠の ミ | ゝ | 濁点 |
| タ | 煙草の タ | ム | 無線の ム | 。 | 半濁点 |
| チ | ちどりの チ | メ | 明治の メ | | |

| 数 字 | | | | | |
|-----|--------|----|--------|------|---------|
| 一 | 数字の ひと | 五 | 数字の ご | 九 | 数字の きゅう |
| 二 | 数字の に | 六 | 数字の ろく | 〇 | 数字の まる |
| 三 | 数字の さん | 七 | 数字の なな | | |
| 四 | 数字の よん | 八 | 数字の はち | | |
| 記 号 | | | | | |
| — | 長音 | 段落 | 」 | 上向括弧 | |
| 、 | 区切点 | 「 | 下向括弧 | | |

シグナルレポート(RS/T)

R－了解度(Readability)

1. 了解できない。
2. かろうじて了解できる。
3. かなり困難だが了解できる。
4. 実用上困難なく了解できる。
5. 完全に了解できる。

S－信号強度(Signal Strength)

1. 微弱でかろうじて受信できる信号
2. たいへん弱い信号
3. 弱い信号
4. 弱いが受信容易
5. かなり適度な強さの信号
6. 適度な強さの信号
7. かなり強い信号
8. 強い信号
9. 極めて強い信号

T－音調(Tone)

1. 極めてあらい音
2. 大変あらい交流音で、楽音の感じは少しもしない音調
3. あらくて低い調子の交流音でいくぶん楽音にちかい音調
4. いくらかあらい交流音で、かなり楽音性にちかい音
5. 音楽的で変調された音色
6. 変調された音。すこしビューツという音を伴っている
7. 直流に近い音で、少しリップルが残っている。
8. よい直流音色だが、ほんのわずかにリップルが感じられる。
9. 完全な直流音